

エコアクション21

2023年度

(令和5年4月～令和6年3月)

環境経営レポート

令和 6年 5月 15日

有限会社 大楠組

目 次

1.	組織の概要	P1
2.	対象範囲	P1
3.	環境経営方針	P2
4.	実施体制	P3
5.	令和5年度の環境経営目標と実績	P4
6.	環境経営活動計画とその評価	P5
7.	環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	P6～P9
8.	次年度以降の環境経営目標	P10
9.	環境経営計画の評価	P11～P14
10.	次年度以降の環境経営計画	P15
11.	環境関連法規等の遵守状況の確認	P16
12.	代表者による全体評価と見直し計画	P16

1. 組織の概要

事業所名		有限会社 大楠組		
代表者		代表取締役 大楠 富士男		
所在地	本社	〒812-0063 福岡県福岡市東区原田2丁目12番9号		
	現場詰所・車庫	〒813-0062 福岡県福岡市東区松島3丁目24番5号		
環境管理責任者及び担当者		大楠 桃子		
電話・FAX		(電話) 092-611-1552 (FAX) 092-623-3416		
Eメール		oaks.129@oasis.ocn.ne.jp		
資本金		500万円		
創業		昭和14年 4月 1日		
法人設立		昭和54年 3月12日		
事業内容		一般可燃廃棄物収集運搬		
事業規模	年度 (西暦)	2021年度	2022年度	2023年度
	収集運搬量 (t)	11,810	11,487	11,270
	床面積 (㎡)	559.48	559.48	559.48
	従業員数 (人)	28	28	29
事業年度		4月～翌年3月		
売上高		福岡市との委託業務契約額に準ずる		
収集運搬処理料金		福岡市の委託料金に準ずる		
施設等の状況	運搬車両の種類	パッカー車 7台・軽トラック 1台・バン 1台		
収集運搬委託番号		委託 第26号		

2. 認証・登録の対象範囲 及び 事業内容

対象事業所	本社、現場詰所・車庫
事業内容	一般廃棄物収集運搬業

環境経営方針

(基本理念)

有限会社 大楠組は、一般廃棄物の収集運搬という清掃事業を通して地域の環境美化に努め <地球に優しい> をスローガンに、環境経営の継続的な改善を実施して、かけがえのない地球の環境保全に取り組みます。

行動指針

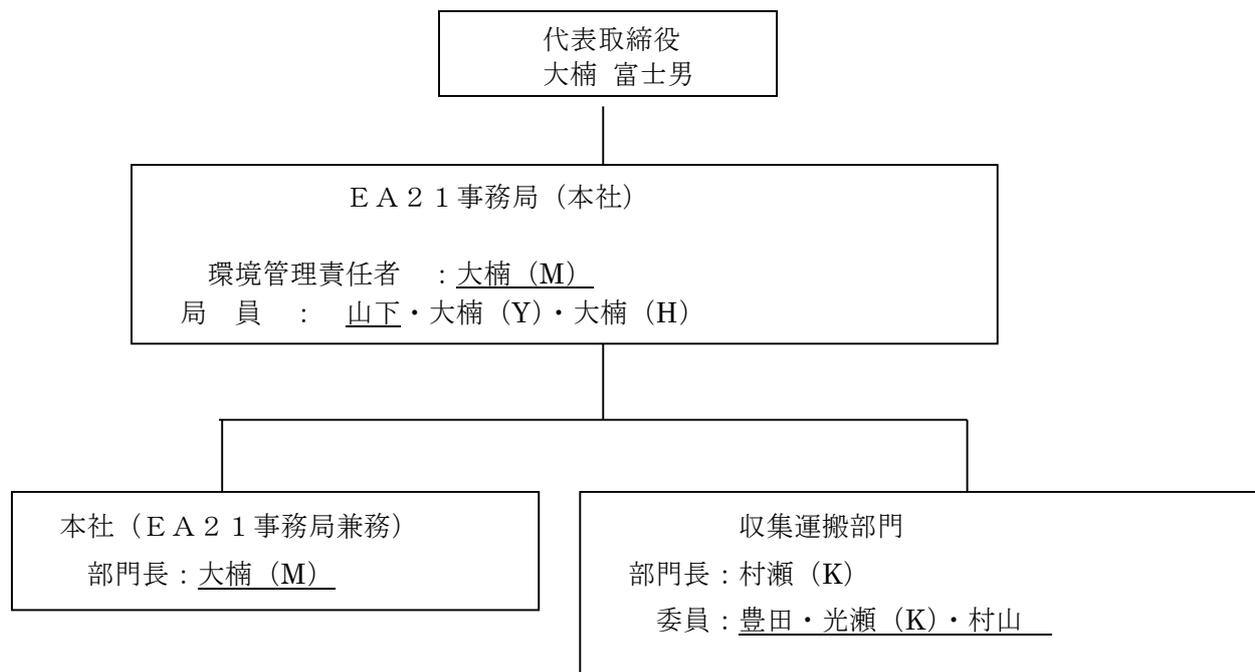
1. 当社の事業活動に伴う環境負荷の低減を目指して、次の事項に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化防止のため、燃料 電気使用量の削減
 - (2) 省資源活動のため、水と紙の使用量の削減
 - (3) 廃棄物発生量の削減
 - (4) 収集運搬業務における環境配慮に努めます。
2. 環境関連法を遵守します。
3. 従業員に対し環境教育を行い、環境活動に関する意識・知識の向上を図ります。
4. 環境保全に対する活動を環境活動レポートとして作成し、公表します。

令和2年 5月29日

有限会社 大楠組
代表取締役 大楠 富士男

4. 実施体制

令和 6年 4月 20日 (改訂)



氏名	所属	役割・責任・権限	
大楠 富士男	代表取締役	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し	
大楠 (M) (山下)	環境管理責任者	環境経営システムの構築 (目標と計画の策定、環境負荷及び取組状況の把握) 運用と確認・評価 (取組状況の確認・評価・是正指導等)、及び状況報告	
大楠 (Y) 大楠 (H)	EA21事務局 事務所 (本社)	EA21委員会を開催し、環境目標の達成状況 及び、環境活動計画の実施状況を確認する。 電気・都市ガスの使用量 及び CO2排出量管理 廃棄物排出量の管理 (分別・計量)、リサイクル活動 EA21文書及び記録類の作成・維持・管理	
村瀬 (K)	EA委員会 (現場詰所・車庫)	委員長・部門長	現場全体の総合管理、指導、部門全員への周知及び報告
光瀬 (K)		CO2 排出削減	現場全体の燃料・電気の消費量管理、節電等指導
村山		廃棄物管理	現場全体の廃棄物排出量の管理 (分別指導・計量)
豊田		水道使用量削減	現場全体の水道使用量の管理、節水指導
大楠 (Y) 大楠 (M)	運行管理	ドライブレコーダーによる、エコ運転の確認・指導 及び きれいな収集の確認・指導	
全従業員	EA21委員の指導に従い、積極的に環境活動へ参加する		

5. 令和5年度の環境経営目標と実績

(令和5年度：2023年4月 ～ 2024年3月)

環境目標	単位	基準値 (令和元年度)	2023年度		
			目標値	実績	結果
二酸化炭素 総排出量 ★1	kg-CO2 /収集世帯数	0.216	0.213	0.203	6%減
電気使用量 ※1	kWh/収集世帯数	0.046	0.045	0.043	—
軽油使用量	L /収集世帯数	0.078	0.075	0.072	—
ガソリン使用量	L /収集世帯数	※1		0.001	—
(都市ガス使用量)	m ³	(14.0)	※2	(9.0)	—
(LP ガス使用量)	kg	(0.0)		(72.4)	—
廃棄物排出量の削減 ★2	kg ★3	410.0	405.9	334.5	18%減
(不燃ごみ排出量)	kg	(53.3)	—	(5.0)	—
総排水量の削減	m ³ ★4	657.6	651.0	867.4	32%増
きれいな収集	ドライブレコーダーによる収集作業の確認を行いました。				

電力排出係数は基準年も含めて0.347kg-CO2/kWh（九州電力2019年度調整後）を適用

★1 二酸化炭素排出量について（二酸化炭素総排出量 101,483kg-CO2）

（2019年度 総収集世帯数：460,086世帯） （2023年度 総収集世帯数：500,124世帯）

★2 廃棄物排出量は不燃ごみとリサイクルへ活用した物を除いた重量に変更しました。

★3 2019年度（令和元年）より廃物排出量の単位を「t」より「kg」に変更しました。

★4 総排水量については、令和5年度以降も衛生状態確保の為1%減を目標値とし、据え置いています。

※1 軽トラック・バンは令和4年3月までリサイクル自己搬入と収集箇所の現地確認に使用していましたが、

令和5年4月より軽トラックを狭路収集へ使用する事になりました。

令和5年度に給油量の実績を記録し、基準値を設定するデータとしました。

令和5年度は基準となる実績がない為、削減目標はありません（CO2排出量には含まれています）

※2 監視項目である都市ガスとLPGガスの使用は少なく、現状から大きな増減は考えられません

使用量の実績のみ記載し、削減目標の設定はしません。

微小な実績値ですがCO2排出総量には含まれています。

6. 環境経営計画の評価

削減目標	取組対象		取組計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	事務所	① エアコン設定温度の抑制・フィルターの定期清掃	○
			② 照明・電化製品のOFF	○
		現場全体	① エアコン設定温度の抑制・フィルターの定期清掃	○
			② 証明・電化製品のOFF	○
	軽油	現場全体	① エコ運転の実践	○
			② 休憩時・洗車時のアイドリングストップ	△
ガソリン		③ 給油量の記録	○	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	事務所	① 分別の徹底・重量の記録	○
			② リサイクル活動の推進	△
		現場全体	① 分別の徹底・重量の記録	○
			② リサイクル活動の推進	△
総排水量の削減	事務所	① 漏水チェック・蛇口の閉め忘れ確認	○	
		② 手洗い時 蛇口をこまめに閉める	○	
	現場全体	① 漏水チェック・蛇口の閉め忘れ確認	○	
		② 手洗い時 蛇口をこまめに閉める	○	
		③ 洗車時の節水（洗車方法・時間の効率化）	△	
収集運搬作業における環境配慮		きれいな収集作業の指導	○	

評価

／	関連がない項目	△	ある程度取組んでいるが、更に取組が必要な項目
○	既に取り組んでいる項目	×	取組んでいない項目

7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

★ 二酸化炭素排出量の削減（地球温暖化防止）のために

- ・ 本社及び現場詰所と車庫による「二酸化炭素排出量」
 - 現場 : エアコンの設定温度の抑制 フィルターの定期清掃
電灯の消し忘れ防止 無駄な照明の消灯
エコドライブの推進 アイドリングストップの推進
 - 事務所 : エアコンの設定温度の抑制 フィルターの定期清掃
電灯の消し忘れ防止 無駄な照明の消灯
退社時 事務機器の OFF
洗濯機使用時コンセント抜き差し
- ・ 現場 : バン・軽トラックのガソリン給油量の記録

取組目標		活動項目		取組部門・責任者	取組期間
1	電気使用量の削減	1	エアコンの省エネ活動 (使用期間・時間・温度の抑制)	社屋 【山下・大楠 (M)】 現場全体 【村瀬 (K)・上久保】	一年中
		2	エアコンフィルターの定期的清掃		月一回
		3	照明、電化製品のこまめなスイッチ OFF		
2	燃料使用量の削減	1	エコ運転の実践		一年中
		2	休憩時・洗車時のアイドリングストップ		
3	ガソリン使用量	ガソリン給油量の記録		現場全体	一年中



電源のこまめなスイッチ OFF



事務所 洗濯機のコンセント抜き (洗濯機使用后)

★ 廃棄物排出量の削減のために

- ・「廃棄物排出量」は二酸化炭素排出量の基準年の見直しに合わせ 廃棄物排出量の基準年も令和元年に変更しました。
令和2年度（2020年）より廃棄物排出量の単位を「t」より「kg」に変更しています。
- ・令和3年度より不燃ごみの排出が全体に占める割合が小さく、排出時期が年に1回程度であることから 監視項目へ変更しました、排出量の記録は今後も行います。
- ・廃棄物排出量はリサイクル業者へ自己搬入した紙類・ペットボトル・缶等 加えて 不燃ごみを除いた重量で、削減目標を設定しています。

取組目標		活動項目		取組部門・責任者	取組期間
1	一般廃棄物の削減	1	廃棄物の分別の徹底（紙類の分別の徹底） 分別した廃棄物別の計量記録	社屋 【山下・大楠(M)】	一年中
		2	リサイクル活動の推進 (紙類・制服・ペットボトル・アルミ缶)	現場全体 【村瀬・光瀬(Y)】	



事務所 紙類の分別



事務所 不燃・リサイクルの分別



詰所 可燃ごみ・紙の分別



詰所 不燃ごみ・リサイクルの分別

★ 水資源保護のために

- ・ 本社及び現場全体の「水使用量」について、基準年の見直しに合わせ総使用量の基準年も令和元年を基準年に変更し努力をしていきます。
- ・ 洗車時はシャワーノズルを使用し用途により水流を変えています。
- ・ 手洗いをを行う際に流水のままにせずこまめに蛇口を閉めるよう指導しています。

取組目標		活動項目		取組部門・責任者	取組期間
1	節水活動による水使用量の削減	1	洗車時の節水（洗車方法・時間の効率化）	社屋 【山下・大楠（H）】 現場全体 【村瀬（K）・武田】	一年中
		2	漏水チェック・蛇口の閉め忘れ		
		3	手洗い時 蛇口をこまめに閉める		



事務所 トイレ 自動止水水栓



事務所 トイレセンサーバルブ



事務所 洗濯機使用時水栓の止水確認



詰所 トイレ 自動止水水栓



詰所 トイレセンサーバルブ

★きれいな収集作業の徹底

- ・収集運搬作業における環境配慮として、収集作業時に飛散したごみ（汚水）の清掃
 ゴミ置き場の扉の確実な開閉 丁寧な洗車 等 ドライブレコーダーの映像を確認しています。
- ・社屋・詰所・車庫周りと周辺道路のゴミ拾いなどを行っています。

取組目標		活動項目	取組部門・責任者	取組期間
1	きれいな収集	ドライブレコーダーによる 収集作業映像の確認・指導	社屋 【大楠 (Y)・太楠 (M)】 現場全体 【村瀬 (K)】	一年中

- ・ドライブレコーダーによる収集作業の確認



8. 次年度以降の環境経営目標

作成日	承認者	作成者
R6.5.15	山下	大楠 (M)

※ 令和4年度まで新型コロナウイルスの感染拡大により当社の環境経営目標に大きく影響がでていました。
令和5年度より予防対策が通常の衛生管理の範囲に近づいたと判断でき、削減目標の再検討をしました。

	単位	基準値	令和5年度	来年度目標	中・長期目標	
		令和元年度	実績	令和6年度	令和7年度	令和10年度
二酸化炭素排出量 ★1	kg-CO ₂ / 収集世帯数	0.216	0.203	0.213 (1%減)	0.213 (1%減)	0.211 (2%減)
	電気使用量 kWh / 収集世帯数	0.046	0.043	0.045	0.045	0.044
	軽油使用量 L / 収集世帯数	0.078	0.072	0.075	0.075	0.074
ガソリン使用量	L	554.15 (令和5年度)	554.15	基準年同値 ★2	—	—
監視項目	都市ガス使用量	m ³	(14.0)	9.0	※1	—
	LPガス使用量	kg	(0.0)	72.4		—
廃棄物排出量の削減	kg ★3	410 ★4	334.5	405.9 (1%減)	405.9 (1%減)	401.8 (2%減)
総排水量の削減	m ³ ★5	657.6	867.4	651.0 (1%減)	651.0 (1%減)	651.0 (1%減)
きれいな収集作業	ドライブレコーダーの映像による収集作業の確認					

電力排出係数は基準年（令和元年度）も含めて0.347 kg-CO₂ / kWh（九州電力2019年調整後）を適用

- ★1 (2019年度総収集世帯数：460,086世帯) (2023年度総収集世帯数：500,124世帯)
- ★2 ガソリン使用量については令和5年度の使用量を基準値に設定しました。
- ★3 2019年度（令和元年）より廃棄物排出量の単位を「t」より「kg」に変更しました。
- ★4 紙類 ペットボトル アルミ缶 等 リサイクル業者へ搬入しますが、不定期な搬入で年ごとの排出量に大きな違いが出ます、不燃ごみも不定期の排出で年に1度の排出しかなく削減目標の設定は難しい為、廃棄物排出量の削減対象は毎回（月）排出する可燃ごみとしています。
- ★5 総排水量については、令和5年度以降も衛生状態確保の為1%減を目標値とし、据え置いています。

※1 監視項目である都市ガスとLPGガスの使用は少なく、現状では大きな増減は考えられません
使用量の実績のみ記載し、削減目標の設定はしません。
CO₂排出総量には含まれています。

9. 環境経営計画の評価

二酸化炭素排出量の削減についての評価

二酸化炭素排出量全体の削減については基準値に対し、6%減少することが出来ました。

二酸化炭素排出量全体に対する各排出量の割合は、軽油91%・電気使用量7%・ガソリン1%
LPGガスは少なく、都市ガスは微少

☆ 電気使用量

電力排出係数は基準年（令和元年度）も含めて

0.347 kg-CO₂/（九州電力2019年調整後）を適用しました。

現場： 詰所内を快適な温度に保つことは、健康管理からも欠かせない対応と
考えています。

事務所： 照明・電気製品等の切り忘れ等の問題は無く、このまま取組みの継続を行います。

☆ 燃料使用量

軽油： 収集世帯数が増加したことで CO₂/世帯数は8%の削減となりました。

今後も毎月の運行実績表（車両別）は現場に掲示し、運転手や作業員へ各車両別に
経済評価を客観的かつ具体的に把握してもらうことでエコドライブ啓発を促し
ます。

ガソリン： 給油事に給油量を記録しており、令和5年度の結果は554.15ℓでした。令和6
年度より今年度の数値を基準値として設定します。

☆ 監視項目について（都市ガス及びLPガス使用量）大きな増減は考えられませんので
削減目標は設定していません。

現場： LPGガスの使用量は72.4 kgでした。

貯湯式電気温水器のお湯を使用する為、温水器内の温度上昇が追い付かず、
シャワーを使用する際、低温のお湯しか出なくなってしまう。
その為シャワーを利用する際にガス給湯器を使います。結果LPガスの使用が増
えています。

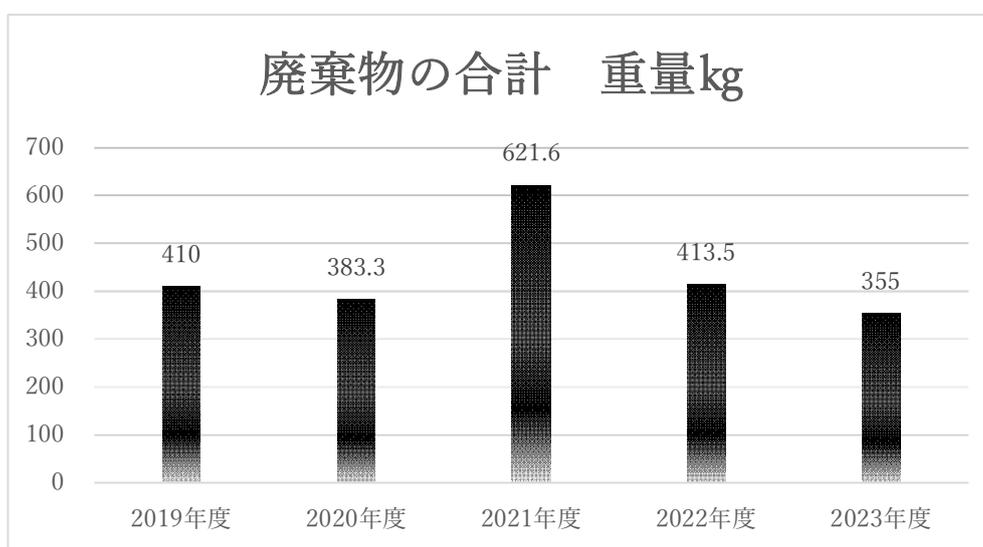
事務所： ガス給湯器の使用は冬場に限定し、水温が高い夏場は使用を中止しています。



☆ 廃棄物排出量の削減について

ゴミの削減については、基準値に対し、18%の削減が出来ました。
新型コロナの感染防止策もピーク時ほどの過剰反応はなくなりました。

- 現場 : ペーパータオルの使用はこれからも継続します。
除菌シートの使用は少しずつ減少しています。
仕事の連絡事項を掲示した紙やリサイクル可能な紙類を現場詰所から確実に返却
様指導し、事務所にて分別を行うことで可燃ゴミの削減が来ています。
- 事務所 : 事務所のペーパータオルの使用はこれからも継続します。
除菌シートの使用は一時期に比べ減少しています。
リサイクルの為こまめな分別を継続しており紙類（コピー紙、段ボール、冊子など）
の可燃ゴミの削減が来ています。
- ※ 平成19年度 基準年変更の際、リサイクル工場へ自己搬入する紙類やペットボトル
などの重量を除外しています。
- ※ 令和3年度より不燃物排出量を基準年・実績値から除外しました。
社内記録のみ行っています。
不燃物はある程度量がたまった時に 出しており年に1回程度です。
廃棄物排出量に占める割合も小さいと判断し監視項目に変更しました。



☆ 水使用量の削減について

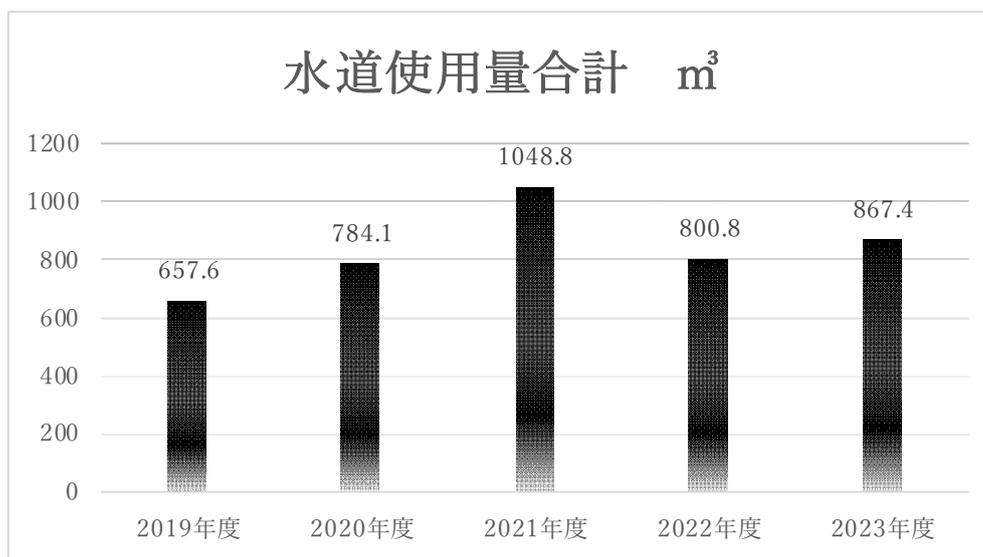
水使用量の削減については、基準値に対し、32%と増加しました。

従業員の中で衛生意識が変化しており、コロナ前と比較しても手洗い・うがいなど回数が増加しています。

加えて、収集車を清潔に保ち悪臭の原因にならないように洗車は欠かすことは出来ません。

- ・ 社員の手洗い うがい、作業服の洗濯の頻度の増加
- ・ 車内 シート 取っ手 ダッシュボード 等 の除菌
- ・ 収集車（荷箱内部 含む）に感染の原因となる付着物がある可能性を想定した洗車と消毒
- ・ 収集ゴミ残渣の処理と清掃後の消毒
- ・ 洗車終了後、拭き上げタオルの消毒 及び フィールドの洗浄と除菌作業の徹底

漏水・蛇口の閉め忘れなどの問題は無く、次年度からも削減努力を継続して行きます。



☆ きれいな収集作業についての評価

『収集時 ゴミの取り残しの有無』 『収集作業中のごみの散乱はないか』 『汚水を公道へのばらまきはないか』 などドライブレコーダーの映像をアトランダムにチェックしました。

収集作業は丁寧に行なわれていると評価できます。

※ 収集世帯数の推移

	年間 総世帯数	1か月 平均世帯数
令和元年度 (2019)	460,086	38340.5
令和2年度 (2020)	472,602	39383.5
令和3年度 (2021)	483,558	40296.5
令和4年度 (2022)	490,338	40861.5
令和5年度 (2023)	500,124	41677.0

10. 次年度の環境経営計画

削減目標	取組対象		取組計画
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	事務所	① エアコン設定温度の抑制・フィルターの定期清掃
			② 照明・電化製品の OFF
		現場全体	① エアコン設定温度の抑制・フィルターの定期清掃
			② 証明・電化製品の OFF
	軽油	現場全体	① エコ運転の実践
			③ 休憩時・洗車時のアイドリングストップ
ガソリン		④ 削減目標の設定及び記録	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	事務所	① 分別の徹底・重量の記録
			② リサイクル活動の推進
		現場全体	① 分別の徹底・重量の記録
			② リサイクル活動の推進
総排水量の削減	事務所		① 漏水チェック・蛇口の閉め忘れ確認
			② 手洗い時 蛇口をこまめに閉める
	現場全体		① 漏水チェック・蛇口の閉め忘れ確認
			② 手洗い時 蛇口をこまめに閉める
			③ 洗車時の節水（洗車方法・時間の効率化）
収集運搬作業における環境配慮			きれいな収集作業の指導

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認・結果

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無
当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

適用される法規制等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物収集運搬
福岡市火災予防条例	軽油貯油施設（標識・掲示板の設置）
水質汚濁防止法	軽油貯油施設（事故時の措置）
フロン排出規制法	業務用エアコンの簡易点検（点検簿の保管）

上記の環境関連法規の遵守状況を確認し評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

1 2. 代表者による全体評価と見直し計画

P D C A サイクルについて、EA 委員会は事務所（本社）内で行い、月 1 回の早朝研修会の時に現場への通達と結果報告を行っている。より周知徹底を図る。

◎今後の環境活動について

- ・ 本年度は車両入れ換えは無かったが、車両入れ換えの際はグリーン購入適応・低排気ガス・燃費基準・LCA（ライフサイクルアセスメント）の実施など確認して購入する。
- ・ 総排出水量の基準年の見直しを図り、コロナ禍を経た現状に即した目標値を立てる。
- ・ 市民生活のライフスタイルの変化は排出されるゴミの内容に影響を及ぼしている。
- ・ 環境経営活動は継続していく。

次年度（令和 6 年度）以降も衛生管理に配慮しながら環境経営活動を継続していきます。

その他の環境活動

社屋 車庫の敷地 及び 周辺の清掃

交通安全コンクールへの参加

地域で行われる行事は各所より要請があった場合のみ参加

- ・ 従業員及び、その家族による地域の環境活動
（町内清掃・海岸清掃・公園清掃・廃品回収への参加 等）
- ・ 近隣、福祉施設の行事への駐車場無償貸し出し